

## 資料

## 憲法記念日社説題名一覧（1965～1997年）（2）

梶 居 佳 広

## 簡単な解説

本資料は1965年（戦後20年・内閣憲法調査会解散）から1997年（憲法制定50年）までの憲法記念日（5月3日）社説の題名を列挙した一覧である。前回は全国紙（朝日、毎日、読売、日経、産経）並びに1972年時点で20万部以上だった地方紙を対象としたが、今回は12.5万部以上の地方紙を対象とする。

全体の傾向（論調）は、全国紙・主要地方紙のそれとほぼ同様である（1960～70年代は憲法が定着したかの問いかけ、1980年代は憲法軽視批判、1990年代は国際貢献を契機とした憲法見直し議論の活性化）。また、1960～70年代初頭は『熊本日日新聞』『徳島新聞』、1990年代は（個人の見解としての性格が強い論説であるが）『福島民報』が現行憲法見直しに前向きな議論を展開しているものの、大多数の新聞は改憲慎重ないし護憲論であったとまとめることが出来よう。

ただし、今回対象とした部数12.5万～20万の地方紙には、内容＝論調とは別の特徴も認められる。すなわち、1. 憲法記念日に憲法社説を必ずしも取り上げない、また憲法を取り上げたとしても、2. 共同通信社の配信論説を全部或いは一部活用した社説・論説が目立って多いのである。よって、本一覧では、①憲法を社説で取り上げなかった場合は×と表記し、②共同の配信論説（論説資料）を利用したと推測できる社説（論説）には下線を、さらに③憲法について間接的に言及したに過ぎない社説（論説）には波線を引くことにした。共同配信利用について、ここで少し触れておくと、今回対象とした新聞では『東奥日報』『山形新聞』『下野新聞』『四国新聞』『長崎新聞』『大分合同新聞』『宮崎日日新聞』の半数以上、『岩手日報』は1960～70年代前半、『北日本新聞』が1980年代、『徳島新聞』が1980～90年代の一時期、共同配信を集中的に利用していたことが解る<sup>1)</sup>。一方、ほぼ毎年憲法を取り上げた上に共同配信を利用しなかった（＝自前で社説・論説を書いている）新聞は『神奈川新聞』『愛媛新聞』『高知新聞』などに止まったのだった。

次回は残りの新聞＝5万部以上の地方紙の憲法社説（論説）を紹介する予定である。

## 注

- 1) なお、1970年、1974～76年は同一・類似文章の社説・論説がなく、共同通信が憲法を主題とした配信資料を出さなかった可能性が高い（共同配信論説を利用する地方紙の多くは、配信がなかったと推測される年に憲法社説・論説を掲載していない）。

憲法記念日社説題名一覧（1965～1997年）(2)

（凡例）

- ① 社説で憲法を取り上げなかった場合：×  
 ② 共同通信の配信を利用したと推測できる場合：一重下線\_\_\_\_  
 ③ 憲法について部分的にのみ言及している場合：波線~~~~

地方紙

1. 15万部～20万部

北海タイムス（1967年まで「論説」）

- 1965年 （論説）憲法記念日の意義 いつも関心を失わずに（坂西志保）  
 1966年 （論説）平和の難さと厳しさ 憲法記念日に当たって（平塚正雄）  
 1967年 （論説）日本国憲法の二十年 その定着と九条のなげき（南部）  
 1968年 憲法記念日におもう  
 1969年 平和憲法とは何か その危機意識について  
 1970年 公害の中の憲法 不断の努力による獲得  
 1971年 憲法をめぐる今日の課題  
 1972年 真の自由憲法は何であるか  
 1973年 憲法を最高裁の専売とさせるな  
 1974年 日本国憲法の二十七年におもう  
 1975年 君は憲法を読んだことがあるか  
 1976年 ×  
 1977年 憲法記念日に思う  
 1978年 ×  
 1979年 三十二回目の憲法記念日に  
 1980年 ×  
 1981年 ×  
 1982年 （2日）（主張）一度は憲法を読む義務（木野工）  
 1983年 （主張）平和憲法のままだいい（宮田久）  
 1984年 今一度、憲法を読もう  
 1985年 日常の会話に政治を一言  
 1986年 大きい平和憲法の役割  
 1987年 不惑を迎えた憲法に思う  
 1988年 ×  
 1989年 未来を先取りした平和憲法  
 1990年 憲法制定の初心に戻ろう  
 1991年 憲法論議をタブー視するな  
 1992年 ×  
 1993年 憲法を身近に語り合おう  
 1994年 「解釈改憲」的手法への疑問  
 1995年 憲法論議を大いに高めよう  
 1996年 新たな視点で憲法語れ  
 1997年 まずは分別ある合意を

東奥日報

- 1965年 憲法の「戦争放棄」理想と現実  
 1966年 ×  
 1967年 ×  
 1968年 憲法を読み、考えよう  
 1969年 憲法と裁判への批判

- 1970年 ×  
 1971年 憲法記念日に思う  
 1972年 憲法二十五年目の反省  
 1973年 憲法記念日に思う  
 1974年 憲法記念日に思う  
 1975年 一応解決の“中里選挙”  
 1976年 憲法30周年下の政情  
 1977年 満三十年の憲法に思う  
 1978年 活発化した憲法論議  
 1979年 “象徴天皇” そととして  
 1980年 憲法記念日と地方自治  
 1981年 関頭に立つ憲法第九条  
 1982年 ×  
 1983年 憲法記念日に思うこと  
 1984年 平和憲法はいま働き盛り  
 1985年 憲法記念日に考えること  
 1986年 第39回憲法記念日に思う  
 1987年 (2日) 壮年期の憲法を考えよう  
 1988年 ×  
 1989年 ×  
 1990年 ×  
 1991年 憲法は平和貢献を拒まない  
 1992年 憲法にもっと国民的論議を  
 1993年 盛んな憲法改正論議に  
 1994年 ×  
 1995年 (戦後50年 あすを考える) マルタ体制下の憲法 平和の理念をもっと高く  
 1996年 半世紀を迎えた日本国憲法  
 1997年 五十回目の憲法記念日に

## 秋田魁新報

- 1965年 (2日) あすの憲法記念日を前に  
 1966年 憲法記念日を迎えて  
 1967年 憲法と国民生活  
 1968年 憲法記念日にあたって  
 1969年 憲法理念の徹底 これを損壊する暴力を排せ  
 1970年 平和を守り抜こう 憲法と国民の努力で  
 1971年 (週刊時評) 憲法二十五年 この段階の司法権独立の意味 (中村哲)  
 1972年 憲法記念日に思う 施行二十五周年を迎えて  
 1973年 憲法記念日に思う 自由をはきちがえるな  
 1974年 ×  
 1975年 ×  
 1976年 (週刊時評) 憲法定着の現位相 新憲法施行二十九年目に思う (高瀬広居)  
 1977年 (2日) (週刊時評) 憲法30年の確信 五月三日に思う新時代の世代 (中村哲)  
 1978年 初心に立ち返って憲法論議を  
 1979年 憲法記念日を有意義なものに  
 1980年 「民主憲法」の意義を考える  
 1981年 改憲論の中で迎える“記念日”  
 1982年 (月曜論壇) 憲法の人権保障をめぐる (伊勢正克)  
 1983年 よりよく生かせ、憲法の理念  
 1984年 憲法の三原則を再確認する

1985年 日常に確かめたい憲法の精神  
 1986年 ×  
 1987年 (2日) 憲法はよりよく定着したのか  
 1988年 憲法の精神を守る自覚と責務  
 1989年 ×  
 1990年 新時代にも不変の憲法精神  
 1991年 (4日) いま、憲法論議を高める好機  
 1992年 憲法精神を世界に広げるために  
 1993年 (2日) タブーは消えた憲法論議の基盤  
 1994年 憲法は割拠対立の口実ではない  
 1995年 今、戦後50年と憲法を読み返す  
 1996年 暮らしの視点含めた憲法論議を  
 1997年 まだ隔たりがある暮らしと憲法

山形新聞

1965年 ×  
 1966年 ×  
 1967年 憲法と安保体制 どのように理解するか  
 1968年 憲法論議を歓迎 参院選が絶好の好機  
 1969年 憲法と裁判批判 正規ルールで検討せよ  
 1970年 ×  
 1971年 ×  
 1972年 本来の精神を見失うな 憲法記念日を迎えて  
 1973年 ×  
 1974年 ×  
 1975年 ×  
 1976年 ×  
 1977年 憲法三十周年に思う 欲しい生活実感に立つ論議  
 1978年 ×  
 1979年 憲法の現実的点検を 施行三十二年、原点に戻って  
 1980年 ×  
 1981年 ×  
 1982年 ×  
 1983年 いま地方自治を考える 憲法の本旨と住民の信頼感を  
 1984年 ×  
 1985年 ×  
 1986年 憲法記念日に当たって 広い視野に立った論議、今こそ  
 1987年 ×  
 1988年 壮年期迎えた日本国憲法 平和と安定基本に国民に定着  
 1989年 天皇制と憲法記念日 時代の節目、兼ね合い考えよう  
 1990年 生命力豊かな憲法に 理想を掲げ、現実の矛盾に挑戦  
 1991年 もっと自由に憲法を論議  
 1992年 (4日) 憲法論議、いまこそ活発に  
 1993年 ×  
 1994年 ×  
 1995年 戦後50年、憲法考える日に  
 1996年 バランスのよい憲法論に  
 1997年 憲法の理念「時効」にせず 改憲論議より理解深めたい

## 福島民報

- 1965年 社説欄なし  
 1966年 社説欄なし  
 1967年 社説欄なし  
 1968年 社説欄なし  
 1969年 社説欄なし  
 1970年 社説欄なし  
 1971年 社説欄なし  
 1972年 社説欄なし  
 1973年 社説欄なし  
 1974年 社説欄なし  
 1975年 ×  
 1976年 ×  
 1977年 ×  
 1978年 （論説）所得番付を見て（三谷晃一）  
 1979年 （論説）喜多方市議選 法の整備を望む（星一男）  
 1980年 ×  
 1981年 ×  
 1982年 ×  
 1983年 （論説）「憲法論議」を大いにやろう（河田亨）  
 1984年 （論説）国際協力で示せ憲法の本質（佐藤謙寿）  
 1985年 ×  
 1986年 ×  
 1987年 ×  
 1988年 ×  
 1989年 ×  
 1990年 （論説）憲法記念日 権利の濫用はないか（坂本弘）  
 1991年 （論説）ごまかしで通らぬ憲法論議（花角慎一）  
 1992年 （日曜論壇）平和憲法と国際貢献（花月観暎）  
 1993年 （論説）憲法は不磨の大典ではない（坂本弘）  
 1994年 （論説）いつまでも続く憲法論争（坂本弘）  
 1995年 （論説）「家庭憲法」制定してみても（渡辺紀士見）  
 1996年 ×  
 1997年 ×

## 神奈川新聞

- 1965年 憲法問題をみんなで考えよう  
 1966年 平和を守る  
 1967年 ×  
 1968年 （2日）憲法を考える日  
 1969年 憲法と地方自治  
 1970年 憲法第九条を歯止め 軍国主義への道を歩むな  
 1971年 民主憲法を生かす道 終局的には国民意思によれ  
 1972年 再建に不断の努力を 四半世紀たった地方自治  
 1973年 憲法感覚への目覚め 息を吹き返す基本的人権  
 1974年 権力強化に歯止めを 試練にさらされる現行憲法  
 1975年 平和国家の道を歩め  
 1976年 憲法の前文を読み返せ  
 1977年 憲法三十年を迎えて  
 （4日）三十周年の地方自治法

- 1978年 目立つ九条の拡大解釈
- 1979年 憲法と「地方の時代」
- 1980年 平和憲法の精神を生かせ
- 1981年 憲法記念日を考える日に
- 1982年 憲法記念日に思うこと
- 1983年 護憲意識に甘さはないか
- 1984年 憲法の精神は国民の心に宿る
- 1985年 再確認したい憲法の原理
- 1986年 平和憲法の空洞化を危ぶむ
- 1987年 時には憲法と対話してみよう
- 1988年 「憲法」を読み返してみよう
- 1989年 原点を踏まえて平和を守ろう
- 1990年 なぜ憲法にこだわるのか
- 1991年 平和憲法を守り抜きたい
- 1992年 潮流先取りした「憲法」に誇り
- 1993年 激変する内外環境と改憲論議
- 1994年 誓いの日にしたい憲法記念日
- 1995年 今こそ憲法の理念に立ち戻れ
- 1996年 平和維持に貢献した憲法50年
- 1997年 平和憲法に誇りを持ち続けたい

北日本新聞

- 1965年 (3日) 憲法記念日に寄す  
(4日) 生活の中の人権不在
- 1966年 憲法と防衛力
- 1967年 われらの平和憲法は健在か
- 1968年 ×
- 1969年 憲法記念日に当たり
- 1970年 平和憲法の精神に徹せよ—揺れ動く国際情勢の中で
- 1971年 憲法とゆらぐ最高裁 国家権力を制限するもの
- 1972年 憲法への関心は定着したか
- 1973年 憲法と親子の関係 封建制は除かれたが…
- 1974年 二十七年目の憲法 政治意識高める努力を
- 1975年 憲法の原理を生かせ—政治がいかにこたえるか
- 1976年 憲法理念と国民生活—政治不信の除去が安定への道
- 1977年 施行三十年を経た憲法—現実的な適応にも配慮を
- 1978年 憲法記念日に思うこと—現実的な矛盾を直視せよ
- 1979年 憲法記念日とその意義—国民共感へ現実的再検討を
- 1980年 ×
- 1981年 関頭に立つ憲法第九条—決定のカギは国民の手中に
- 1982年 憲法論議は冷静に—便宜的な解釈の変化は危険
- 1983年 憲法記念日に当たって—その精神の活性化に思いを
- 1984年 憲法を守る良い政治を—“靖国参拝”の合憲論に疑問も
- 1985年 38回目迎えた憲法記念日—政党は国政の健全運営忘れるな
- 1986年 憲法記念日に当たって—基本精神を守る決意を新たに
- 1987年 “不惑”の年を迎えた憲法—自分自身の生活に結び付けよう
- 1988年 不断の努力で憲法生かせ—いま改めて戦争放棄の確認を
- 1989年 平和憲法の理想を世界に—基本的人権は在日外国人にも
- 1990年 ×
- 1991年 先行き不透明な政治改革

- 1992年 今こそ憲法論議を活発に  
 1993年 憲法論議は腰を据えて  
 1994年 今また噴き出た改憲論議  
 1995年 （3日）理念に近づく努力こそ大事  
       （4日）平和への願いを貫くとき  
 1996年 憲法の理念を行動で示そう  
 1997年 閉塞状況を打ち破ろう 憲法施行50年を迎えて

## 徳島新聞

- 1965年 憲法を正しく理解しよう  
 1966年 憲法を正しく理解しよう  
 1967年 「憲法二十年」をどう見る  
 1968年 憲法論議を活発に  
 1969年 真の国民の憲法に  
 1970年 国民のため憲法 記念日を迎え認識を深めよう  
 1971年 憲法を確かめよう 国民の一人ひとりが考える時点  
 1972年 憲法は定着したか 記念日を迎えて認識を深めよ  
 1973年 憲法を認識しよう まだ遠い国民生活との距離  
 1974年 27歳の日本国憲法 速やかに「定着」への努力を  
 1975年 不公正是正を進めよ 憲法記念日に当たって  
 1976年 憲法を生活に根ざそう  
 1977年 ×  
 1978年 法のもと男女は平等か  
 1979年 ×  
 1980年 ×  
 1981年 賢明で冷静な憲法論議を  
 1982年 憲法論議に冷静な対応を  
 1983年 憲法記念日に思うこと  
 1984年 ×  
 1985年 憲法の理念と国際環境  
 1986年 憲法記念日に当たって  
 1987年 （2日）憲法「不惑の年」を迎えて  
 1988年 不断の努力で憲法を生かせ  
 1989年 平成時代の憲法に思うこと  
 1990年 柔軟で生命力豊かな憲法に  
 1991年 憲法と新国際秩序を考える  
 1992年 いま憲法論議は避けられない  
 1993年 積極的に評価したい平和憲法  
 1994年 満47年の憲法記念日に思う  
 1995年 憲法に「名誉ある地位」を  
 1996年 解釈改憲は許さない  
 1997年 憲法の大原則は破るまい

## 愛媛新聞

- 1965年 憲法記念日に思うこと  
 1966年 憲法の理想と現実の間  
 1967年 ×  
 1968年 （1日）内閣を「支持しない」世論  
 1969年 ×  
 1970年 ×

- 1971年 憲法記念日に当たって
- 1972年 (1日) 重要度加わる「憲法認識」  
(3日) 憲法を「守る」ことの意義
- 1973年 憲法記念日に当たって
- 1974年 「暮らしの中の憲法」は…
- 1975年 憲法と人権, 平和, 自治
- 1976年 三十年目の新憲法
- 1977年 30年, 憲法と共に生きて
- 1978年 憲法と国民生活
- 1979年 憲法理念を問い直そう
- 1980年 憲法と国民の暮らし
- 1981年 試練に立ち向かう「平和憲法」
- 1982年 “平和憲法” に険しい世界環境
- 1983年 初心に帰って憲法を考えよう
- 1984年 「平和憲法」を巡る理想と現実
- 1985年 憲法記念日は自覚を深める日
- 1986年 憲法をよく読み, よく知ろう
- 1987年 憲法の理想を目指す政治を
- 1988年 ×
- 1989年 「平和憲法」の重みを生かそう
- 1990年 憲法感覚を身近に確認しよう
- 1991年 憲法の理想を達成するために
- 1992年 国際貢献で憲法理念を生かせ
- 1993年 憲法論議 政治の場に任せるな
- 1994年 改憲の前に「すること」は多い
- 1995年 戦後50年 憲法を読み返そう
- 1996年 新憲法50年の意義を考えよう
- 1997年 「平和憲法」施行50周年の重み

#### 高知新聞

- 1965年 憲法と人間像
- 1966年 憲法記念日に思うこと
- 1967年 憲法記念日に思う
- 1968年 憲法記念日に思う
- 1969年 憲法記念日に思う
- 1970年 憲法記念日におもう
- 1971年 憲法記念日に思う
- 1972年 憲法記念日に思う
- 1973年 「憲法記念日」に思う
- 1974年 憲法記念日に考える
- 1975年 福祉国家と憲法の本質
- 1976年 憲法精神の高揚を望む
- 1977年 戦争放棄の理想を高く
- 1978年 憲法の理念と防衛論議
- 1979年 変わる世界と「平和憲法」
- 1980年 憲法は考えてこそ身近に
- 1981年 平和憲法の国際的実践を
- 1982年 『核危機の時代』と平和憲法
- 1983年 試練にさらされる平和憲法
- 1984年 現実傾斜に揺れる日本国憲法



- 1985年 憲法の理想を置き忘れるな  
 1986年 民主政治脅かす『知る権利』の制限  
 1987年 問われる憲法の平和主義  
 1988年 憲法の理想を国民の心に取り戻せ  
 1989年 政治を国民の支配下に確保せよ  
 1990年 世界激動で再確認する憲法の価値  
 1991年 (2日) 国際貢献で揺れる憲法 上 理想なのか、足かせなのか  
 (3日) 国際貢献で揺れる憲法 下 日本の針路を考えるべき日  
 1992年 日本はどこへ行くかとするのか  
 1993年 (3日) 戦後平和主義に足りぬもの 憲法論議の高まりの中で 上  
 (4日) 必要な総合国際貢献の視野 憲法論議の高まりの中で 下  
 1994年 集団的自衛権に鈍い国民の反応  
 1995年 戦後50年の憲法状況を見直そう  
 1996年 (3日) 安保再定義にみる危険な道 かすみかねぬ平和憲法の原点 上  
 (4日) 危ない集団的自衛権接近 かすみかねぬ平和憲法の原点 下  
 1997年 (3日) 憲法半世紀をかみしめたい 上 解釈改憲積み重ねが招いた現在  
 (4日) 憲法半世紀をかみしめたい 下 改憲肯定派が63%という新事態

## 熊本日日新聞

- 1965年 ×  
 1966年 憲法記念日に考えよう  
 1967年 憲法施行されて二十年  
 1968年 憲法論議を回避するな  
 1969年 憲法記念日を迎えて  
 1970年 「憲法記念日」の朝に  
 1971年 ×  
 1972年 憲法を精神を体しよう  
 1973年 国民は幸せになったか—憲法25条の今日的課題—  
 1974年 憲法を一層理解しよう  
 1975年 「憲法記念日」に考える 理想の実現へ努力  
 1976年 国民の権利と公共の福祉 憲法公布記念日に思う  
 1977年 ×  
 1978年 平和・民主・人権の永久堅持を 国民生活に定着した憲法  
 1979年 ×  
 1980年 ×  
 1981年 憲法は国民に定着している 平和と自由の旗を守ろう  
 1982年 憲法には“ゆとり”が大切 国民の良識と理解に期待  
 1983年 いま身の回りを見渡そう  
 1984年 憲法論議大いにやるべし  
 1985年 戦後四十年と民主憲法  
 1986年 ×  
 1987年 新憲法下の地方自治を考える  
 1988年 人権・自由の定着へ努力を  
 1989年 (1日) 憲法の不備は弾力的運用で  
 (3日) 民主政治は根づいているかきき  
 1990年 43歳になった日本国憲法  
 1991年 平和憲法の理念を国際社会に  
 1992年 日本国憲法に自信を持とう  
 1993年 日本国憲法は時代遅れなのか  
 1994年 憲法をめぐる論議 平和主義の理想を堅持

- 1995年 憲法記念日 平和主義の理念どう生かす  
 1996年 憲法記念日 対話による「理念」再構築を  
 1997年 (3日) 憲法施行五十年 九条の理念生かす道こそ  
 (4日) 危機管理 課題残る首相権限の範囲

2. 12.5～15万部

岩手日報

- 1965年 平和憲法とその周辺  
 1966年 憲法記念日を迎えて  
 1967年 生活に密着した憲法  
 1968年 憲法記念日を迎えて  
 1969年 ×  
 1970年 ×  
 1971年 憲法記念日に当たり  
 1972年 憲法記念日の反省  
 1973年 憲法をとらえ直そう  
 1974年 憲法記念日を考える  
 1975年 平和への決意新たに  
 1976年 国勢調査機能と憲法  
 1977年 憲法三十周年顧みて  
 1978年 憲法めぐる情勢変化  
 1979年 憲法を考え見直そう  
 1980年 地方自治意識高めよう  
 1981年 地方自治にみる憲法精神  
 1982年 静かに憲法読んでみよう  
 1983年 地方自治に憲法貫け  
 1984年 女にとって憲法とは  
 1985年 憲法は定着したのか  
 1986年 憲法の理念考えよう  
 1987年 不惑の年迎える憲法  
 1988年 女性の参政権と憲法  
 1989年 「憲法感覚」を磨こう  
 1990年 憲法を生活の原点に  
 1991年 憲法を身近なものに  
 1992年 きょうは憲法読もう 民主的秩序守るために  
 1993年 (2日) 改憲論議を直視して 平和主義を堅持しよう  
 1994年 憲法めぐる環境変化  
 1995年 憲法の原点忘れまい  
 1996年 憲法を読み違えるな  
 1997年 (2日) 憲法を生活の原点に

下野新聞

- 1965年 ×  
 1966年 憲法記念日を迎えて  
 1967年 新憲法二十周年の意義  
 1968年 ×  
 1969年 ×  
 1970年 ×  
 1971年 二十五年目を迎える憲法  
 1972年 ×

- 1973年 ×  
 1974年 ×  
 1975年 ×  
 1976年 ×  
 1977年 憲法三十年に思う  
 1978年 ×  
 1979年 憲法の現実的再点検  
 1980年 憲法と「地方自治」  
 1981年 関頭に立つ憲法第九条  
 1982年 「憲法」論議は冷静に  
 1983年 （論説）憲法精神どう生かす  
 1984年 （論説）憲法の基本精神守る政治を  
 1985年 （論説）国際化の波と憲法理念  
 1986年 （論説）守りたい憲法の基本精神  
 1987年 （論説）（2日）実質伴うか不惑の憲法  
 1988年 （論説）憲法の精神，社会に生かせ  
 1989年 （論説）憲法理念，在日外国人にも  
 1990年 （論説）憲法の精神定着へ決意を  
 1991年 （論説）平和憲法と新国際秩序  
 1992年 ×  
 1993年 （論説）平和憲法 改めて評価を  
 1994年 ×  
 1995年 （論説）憲法を読み返してみよう  
 1996年 （論説）憲法論議 暮らしと針路の均衡必要  
 1997年 ×

## 福井新聞

- 1965年 ×  
 1966年 ×  
 1967年 （論壇）「憲法記念日」を迎えて（福田時雄）  
 1968年 （論壇）憲法と個人の自由・幸福（加藤恒行）  
 1969年 （論壇）学生事件と法廷の秩序維持（青山重三郎）  
 1970年 （論壇）「平和憲法」と「軍国主義」（加藤恒行）  
 1971年 （論壇）憲法の全文を読み返そう（土田誠）  
 1972年 （論壇）憲法記念日と憲法週間（土田誠）  
 1973年 （論壇）刑事訴訟法の25年と人権（小林巖）  
 1974年 （論壇）身近なところで“憲法”を考える（加藤恒行）  
 1975年 （論説）国民の意識の中の憲法記念日は…（坪川常春）  
 1976年 （論説）みんなで憲法のことを考える日（土田誠）  
 1977年 （論説）満三十歳迎えた平和憲法を考える（小林雄次郎）  
 1978年 （論説）理想を“守ってきた”国民の英知（小林巖）  
 1979年 （論説）国民に定着した現行憲法の周辺（小林雄次郎）  
 1980年 ×  
 1981年 ×  
 1982年 （論説）現行憲法の理解と関心を高めよう（小林雄次郎）  
 1983年 （論説）“改憲志向”の中の憲法記念日考える（松島翠）  
 1984年 ×  
 1985年 ×  
 1986年 ×  
 1987年 ×

- 1988年 ×  
 1989年 (論説) 平成時代に迎えた憲法記念日を考える (松島翠)  
 1990年 (論説) 憲法と民主主義とジャーナリズム (土岡秀一)  
 1991年 (論説) 身近で考えたい平和憲法と人権 (松島翠)  
 1992年 ×  
 1993年 (論説) 変わる憲法意識と親子の学習  
 1994年 (論説) 全人種共存社会へ船出する南ア  
 1995年 ×  
 1996年 (論説) 公布から半世紀、憲法を読もう  
 1997年 (論説) 憲法50年、新憲法と身近な自治

#### 四国新聞

- 1965年 (月曜随想) 憲法週間に寄せて (川喜多正時)  
 1966年 (1日)「憲法週間」に思う  
 1967年 新憲法二十年の意義  
 1968年 憲法記念日に思う  
 1969年 憲法記念日に思う  
 1970年 ×  
 1971年 憲法をめぐる諸状況 憲法擁護を口頭禪で終わらすな  
 1972年 憲法二十五年目の反省 権力による“空どう化”の監視を  
 1973年 理念をとらえ直そう 現実生活と憲法のからみ考える  
 1974年 憲法記念日に当たって 政治の中に憲法をの精神を生かせ  
 1975年 憲法記念日におもう わがものにするための努力を  
 1976年 ×  
 1977年 ×  
 1978年 憲法制定理念忘れるな “ゆれる九条” 迎えた憲法記念日  
 1979年 ×  
 1980年 国民主権の意識明確に 第33回憲法記念日に思うこと  
 1981年 「憲法記念日」に考える  
 1982年 憲法は“みんな”のもの  
 1983年 憲法との静かな対話を  
 1984年 「憲法」を身近なものに  
 1985年 世界のなかの憲法理念  
 1986年 憲法の精神を見据えて  
 1987年 不惑を迎えた平和憲法  
 1988年 憲法を読む日にしよう  
 1989年 平成時代の憲法に思う  
 1990年 憲法を生かす暮らしは  
 1991年 平和憲法と国際秩序  
 1992年 活発な憲法論議 今こそ  
 1993年 平和憲法の積極評価を  
 1994年 普通の政治を見直して  
 1995年 憲法をもう一度読もう  
 1996年 安保論議突出を憂える  
 1997年 生活の中憲法考える

#### 長崎新聞

- 1965年 (論壇) 憲法記念日によせて 「タテの秩序」「ヨコの規律」 (小野哲)  
 1966年 (論壇) 隣人の人権を守ろう 憲法記念日を迎えて (松沢智)  
 1967年 新憲法二十周年の意義

- 1968年 二十一歳の新憲法  
 1969年 憲法と裁判批判  
 1970年 ×  
 1971年 25年目を迎える憲法  
 1972年 憲法二十五年目の反省  
 1973年 憲法記念日に当たって  
 1974年 ×  
 1975年 ×  
 1976年 ×  
 1977年 憲法三十年に思う  
 1978年 きょう憲法記念日  
 1979年 “不磨の大典”ではない  
 1980年 「地方自治」に生命を  
 1981年 関頭に立つ憲法第九条  
 1982年 憲法論議は冷静に  
 1983年 憲法記念日に当たって  
 1984年 「憲法」を守る政治を  
 1985年 国際化と憲法の理念  
 1986年 憲法記念日に当たって  
 1987年 （2日）“不惑の年”迎えた憲法  
 1988年 憲法生かす不断の努力  
 1989年 平成時代の憲法課題  
 1990年 生命力豊かな憲法に  
 1991年 新国際秩序の中の平和憲法  
 1992年 動く世界、活発な憲法論議を  
 1993年 平和憲法の精神は評価を  
 1994年 “政治の主人公は国民だ”  
 1995年 憲法を今一度読み返そう  
 1996年 バランス取れた憲法論を  
 1997年 憲法に「すること」が大切

#### 大分合同新聞

- 1965年 国際紛争の中の平和憲法  
 1966年 憲法記念日に考える  
 1967年 生活のなかにある憲法  
 1968年 政党は憲法論議を避けるな  
 1969年 ×  
 1970年 ×  
 1971年 新しい生命力を 二十五年目の憲法  
 1972年 憲法の日常化を 憲法記念日に思う  
 1973年 新しい家族の意識 憲法記念日に当たって  
 1974年 不断の努力で守る憲法  
 1975年 ×  
 1976年 ×  
 1977年 憲法三十年に思う  
 1978年 憲法記念日に当たって  
 1979年 憲法の現実的再点検を  
 1980年 「憲法の地方自治」に生命を  
 1981年 関頭に立つ憲法第九条  
 1982年 憲法論議は冷静に

- 1983年 憲法記念日に当たって
- 1984年 憲法記念日を考える
- 1985年 国際化と憲法の理念
- 1986年 憲法記念日に当たって
- 1987年 不惑の年を迎えた憲法
- 1988年 不断の努力で憲法を生かせ
- 1989年 平成時代の憲法課題
- 1990年 生命力豊かな憲法に
- 1991年 平和憲法と国際秩序
- 1992年 今こそ活発な憲法論議を
- 1993年 平和憲法の積極的評価を
- 1994年 普通の人の普通の行動
- 1995年 憲法をもう一度読み返そう
- 1996年 「針路」と「暮らし」の憲法
- 1997年 憲法を時効としない努力を

宮崎日日新聞

- 1965年 憲法記念日に平和を思う
- 1966年 ×
- 1967年 一人ひとりの自由—満二十年の日本国憲法—
- 1968年 憲法を見つめる
- 1969年 憲法を見つめ平和に徹す
- 1970年 ×
- 1971年 ×
- 1972年 平和憲法25年目の反省
- 1973年 憲法を再認識しよう
- 1974年 ×
- 1975年 ×
- 1976年 ×
- 1977年 ×
- 1978年 ×
- 1979年 ×
- 1980年 重みを加えた平和憲法
- 1981年 かみしめる平和の意味
- 1982年 反核の中の憲法記念日
- 1983年 憲法の精神をどう生かす
- 1984年 憲法の基本精神を生かす
- 1985年 憲法の理念と国会の怠慢
- 1986年 なし
- 1987年 (2日) 壮年期を迎えた現行憲法
- 1988年 不断の努力で憲法生かせ
- 1989年 平成元年の憲法記念日に
- 1990年 生命力を実証する憲法に
- 1991年 国際社会への貢献と憲法
- 1992年 ×
- 1993年 平和主義の道確認したい
- 1994年 憲法と政治は“表裏一体”
- 1995年 憲法を読み返してみよう
- 1996年 憲法には二つの顔がある
- 1997年 憲法理念に近づく努力を